

福井県LNGインフラ整備研究会について

1 目的

東日本大震災以降の資源・エネルギーを取り巻く大きな環境変化を踏まえ、エネルギーをめぐる国際情勢や国内のエネルギーインフラの現状、新たなエネルギー技術の動向などについて調査研究を行うとともに、福井県内でのLNG基地、LNG火力発電所、ガスパイプライン等LNGインフラの整備に向けた課題、導入促進方策、地域産業への波及効果、県内企業との連携等について検討するため本研究会を開催する。

2 研究事項

- (1) 世界、日本のエネルギー情勢、天然ガス情勢
- (2) 天然ガス基盤整備（ガスパイプライン等）の現状と今後の方向
- (3) LNG基地、LNG火力発電所の立地条件および地元への波及効果
- (4) LNGの効果的活用方策（冷熱利用、関連産業の誘致、地域産業への波及効果、県内企業との連携） 等

3 構成

研究会の委員は知事が委嘱した委員をもって構成する。

4 研究会の運営

- (1) 研究会に座長を置き、知事が選任する。
- (2) 座長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (3) 研究会の庶務は福井県総合政策部政策推進課において行う。